

分野	環境	施策	環境保全	
分野計画名称	地球温暖化対策地域計画		行政経営戦略 参照ページ	P67

施策の展開（大項目）	1 省エネ型建築物・設備の普及					
KPI (指標)	CO2排出量					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	減少	771千t-CO2(平成25年度)	516千t-CO2(令和元年度)	518千t-CO2(令和2年度)	468千t-CO2(令和3年度)	614千t-CO2
KPI (指標)	市域における「都市の低炭素化の促進に関する法律」による低炭素建築物の認定数（累計）【★】					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	6件	18件	22件	28件	11件
KPI (指標)	「未来守る！エネルギー日記」の参加件数【★】					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	612件	408件	374件	332件	880件

中項目	1 住宅、建築物の省エネルギー化の促進		分野計画参照ページ	P37
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
温暖化対策事業 環境政策課	・市ホームページにおいて、省エネの推進や再生可能エネルギーの普及拡大を目的とした「おおさかスマートエネルギーセンター」ホームページのリンクを掲載し、住宅、建築物の省エネルギー化の促進を図った。		・今後も引き続き、ZEH・ZEB等による住宅、建築物の省エネルギー化に向けて普及・啓発を実施する。	
開発指導・確認経由事務事業 建築課	・住宅の省エネルギー化の誘導について、大阪府と連携して窓口にチラシ配架及び市ホームページで大阪府ホームページのリンクを掲載した。		・大阪府と連携して引き続き、ホームページ等を活用し啓発を図っていく。	

中項目	2 省エネルギー機器の導入促進	分野計画参照ページ	P37
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
温暖化対策事業 環境政策課	・市民を対象とした家庭用燃料電池システム(エネファーム)の導入に係る補助事業を実施し、24件(前年度比+9件)に対して補助金の交付を行った。 ・公共施設のLED化に向けて、37施設の照明設備について検討を行った。	・補助件数の増加に繋がった要因として、令和5年度から開始した補助制度の周知が進んだこと等が挙げられる。次年度以降も申請数の増加に向け、HPや広報誌等で周知、啓発を行う。 ・関係課及び施設所管課と協議、調査を重ね、LED化が必要な施設を選定することができた。	
体育施設管理事業 文化スポーツ課	・柳田テニスコートの照明灯のLED化を行った。	・くすの木公園テニスコートの照明灯のLED化に向け、令和7年度中に契約を締結予定である。	
市立集会所管理事業 資産活用課	・第34、37集会所の照明機器をLED化した。	・令和9年末の蛍光管製造終了を踏まえ、LED化を進めていく。	
市立ふれあいの里運営事業 障害福祉課	・館内照明については、令和5年度にLED照明の導入を完了している。これにより令和6年度の電気使用料は、導入前比約6.3%の削減につながっている。	・LED照明の導入に伴い、省エネルギー化の推進に向け一定の成果が得られている。	
コミュニティプラザ管理事業 自治振興課	・正雀市民ルールの照明灯のLED化を行った。	・既存照明器具をLED照明に切り替えたことで、消費電力の削減に伴う温室効果ガスの排出削減を図った。	
正雀市民ルーム管理事業 自治振興課	・コミュニティプラザの照明灯のLED化を行った。	・既存照明器具をLED照明に切り替えたことで、消費電力の削減に伴う温室効果ガスの排出削減を図った。	

中項目	3 次世代自動車等の普及促進	分野計画参照ページ	P37
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
温暖化対策事業 環境政策課	・11月に温暖化対策をテーマとした市民環境フェスティバルを開催し、電気自動車の展示会を実施した。	・次年度以降も電気自動車等の次世代自動車を普及促進するための取組を行う。	

分野	環境	施策	環境保全	
分野計画名称	地球温暖化対策地域計画		行政経営戦略 参照ページ	P67

施策の展開（大項目）	2 環境に配慮した生活・事業の促進					
KPI (指標)	CO2排出量					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	減少	771千t-CO2(平成25年度)	516千t-CO2(令和元年度)	518千t-CO2(令和2年度)	468千t-CO2(令和3年度)	614千t-CO2
KPI (指標)	市域における「都市の低炭素化の促進に関する法律」による低炭素建築物の認定数（累計）【★】					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	6件	18件	22件	28件	11件
KPI (指標)	「未来守る！エネルギー日記」の参加件数【★】					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	612件	408件	374件	332件	880件

中項目	1 見える化によるCO2排出削減の支援		分野計画参照ページ	P38
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
温暖化対策事業 環境政策課	・「未来守る！エネルギー日記」を紙媒体とホームページからダウンロード可能な電子媒体で実施するとともに、市主催イベントでの周知活動を行い、332世帯(前年度比-42世帯)が取り組んだ。		・市主催イベント等を通じて周知活動を行ったが、全体的には昨年度に比べ減少した。今後もより幅広い世帯に取り組んでもらえるよう、取組内容の見直し、HPや広報誌、市主催イベント等での周知を検討する。	
環境教育学習事業 環境政策課	・温暖化対策に係ることもへの知識習得と意識啓発を目的として、夏休みの期間中、小学5年生を対象に「せつつこどもエコノート」を配布し70%(前年度比-14%)の児童が取り組んだ。		・地球温暖化に関して分かりやすく学べる様に、動画による事前説明の実施、表記や取組内容を更新することで多くの児童に取り組んでもらった。今後も多くの児童に取り組んでもらえるよう、継続して啓発に努める。	

中項目	3 脱炭素社会に向けたライフスタイル・ビジネススタイルの転換	分野計画参照ページ	P39
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
温暖化対策事業 環境政策課	・11月に温暖化対策をテーマとした市民環境フェスティバルを開催し、地元団体・企業合わせて17団体による展示や体験会等を行った。また、電気自動車の展示会や飲食ブースを設けた。 ・グリーンカーテンコンテストを実施し、個人27点、団体・事業者7点の計34点(前年度比-8点)の応募があった。 ・毎月20日「ノーマイカーデー」を実施した。交通渋滞の解消、地球温暖化の防止・CO2排出量の削減に努め、CO2排出量を5,203kg削減した。 また、ノーマイカーデー実施日に参加が困難な場合には紙媒体で変更届の提出を求めているが、環境への配慮及び事務の効率化の観点から、ペーパーレス化した。	・今後も新たな取組を参加団体と共に検討し、地球温暖化について学ぶ機会を提供していく。 ・グリーンカーテンコンテストについては、不作により、取り組んだが応募できなかったとの声もあった。応募者の裾野を広げるため引き続き、広報紙やホームページ等を通じ周知していく。 ・ノーマイカーデーについては実施を継続し、公共交通機関、自転車、徒歩等での通勤を促進する。	
教育指導研修事業 学校教育課	・こども版環境家計簿「せっつこどもエコノート」を小学5年生に配付し、70%(前年度比-14%)の児童が参加した。 ・小学5年生の道徳の授業で、地球温暖化についてSDGsとの関連の中で学習し、自分にできることは何かを考えた。 ・中学3年生の国語、社会、技術・家庭科の授業でSDGsや環境にやさしい生活について学習した。	・引き続き、「せっつこどもエコノート」の活用、浄水場や、ごみ処理場などの社会見学、生活科、家庭科、理科等の日々の授業を通して、児童生徒の環境に対する意識を高めていく。また、参加率向上に向けて、家庭との連携強化による保護者との実践状況の共有や家庭内での声かけ・励ましの促進、学級・学校での発表や交流の機会のさらなる充実を図る。 ・児童生徒にとって、SDGsの学習を通して環境や生活スタイルについて見つめなおすことは、興味深く学習できる機会となっている。	

分野	環境	施策	環境保全	
分野計画名称	地球温暖化対策地域計画		行政経営戦略 参照ページ	P67

施策の展開（大項目）	3 再生可能エネルギー等の導入促進					
KPI (指標)	住宅用太陽光発電システム(10kW未満)の設置設備容量(累計)【★】					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	4,063kW	5,005kW	5,371kW	—	4,895kW
KPI (指標)	公共施設における太陽光発電設置数					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	6箇所	7箇所	8箇所	8箇所	10箇所

中項目	1 住宅等への太陽光発電設備の導入促進	分野計画参照ページ	P42
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
温暖化対策事業 環境政策課	・市民を対象に、太陽光発電システム34件(前年度比+8件)、蓄電システム24件(前年度比-1件)、家庭用燃料電池システム24件(前年度比+9件)の補助金を交付した。	・交付件数の増加要因としては令和5年度から周知を行い、補助制度が認知されたことがあげられる。次年度以降も申請数の増加に向けHPや広報誌等で周知・啓発を行う必要がある。	

中項目	2 自立分散型エネルギーシステムの導入推進	分野計画参照ページ	P42
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
温暖化対策事業 環境政策課	・PPA方式による太陽光発電システム導入に向けて、対象施設を絞り込んで現地調査を行い、設置面積や施設の屋上防水の状況、安全面等の確認をした。	・現地調査の結果を踏まえてアンカーが不要となるアンカーレス架台での設置検討を進めたが、アンカーレスタイプでも屋上防水工事が必要であることや耐風圧過重や施設の統廃合の可能性による事業の採算性等の問題点が判明したため、今後も太陽光発電設備導入に向けて新たな導入手法を調査研究する。	
認定こども園管理運営事業 保育教育課	・とりかいこども園建替え工事を開始した。太陽光発電設備の設置については、令和8年度を予定している。	・建替え工事において実施設計通りに太陽光発電設備を設置されるよう、工事監理を行っていく。	

分野	環境	施策	環境保全	
分野計画名称	地球温暖化対策地域計画		行政経営戦略 参照ページ	P67

施策の展開（大項目）	4 再生可能エネルギー等に関連した産業の育成					
KPI （指標）	住宅用太陽光発電システム(10kW未満)の設置設備容量(累計)【★】					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	4,063kW	5,005kW	5,371kW	—	4,895kW

中項目	1 環境・エネルギー産業の企業立地の推進		分野計画参照ページ	P43
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
企業立地等促進事業 産業振興課	・太陽光発電装置を設置した1事業者(前年度比±0事業者)に対し、当該固定資産税額の全額を奨励金として補助した。		・引き続き、制度案内冊子「便利帳」やホームページで太陽光発電装置の設置に対する支援を周知する。	

中項目	2 環境・エネルギー分野への地場企業の実績の支援		分野計画参照ページ	P43
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
温暖化対策事業 環境政策課	・市内中小企業者に対し、省エネルギー対策や温暖化対策の取り組む事業者に対する支援策について、制度案内冊子「便利帳」や市ホームページで周知した。国や府による事業者向けの補助金制度の紹介や、脱炭素化に取り組むメリット等を掲載した。		・引き続き制度案内冊子「便利帳」やホームページの掲載内容を更新し、脱炭素に資する取組の周知を行い、市・市民・事業者が一体となって温室効果ガスの排出削減を推進していく。	

分野	環境	施策	環境保全	
分野計画名称	地球温暖化対策地域計画		行政経営戦略 参照ページ	P67

施策の展開（大項目）	5 脱炭素社会に向けたまちづくりの推進					
KPI (指標)	「摂津市は自家用車を利用しなくても移動しやすいまちだ」と回答した市民の割合【★】					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	維持	30.4%(令和2年度)	35.6%	31.7%	24.7%	30.4%
KPI (指標)	自転車ネットワーク路線整備率【★】					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	0%	20.1%	32.8%	38.6%	59.0%

中項目	1 緑化の推進		分野計画参照ページ	P45
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
緑化推進事業 水みどり課	・花いっぱい活動団体(47団体)(前年度比+1団体)へ花苗等原材料を助成した。 ・建築物の敷地において、対象敷地面積に対して12.3%の緑化が整備された。		・花いっぱい活動団体への支援を継続していく。 ・引き続き、窓口での指導を実施していく。	

中項目	2 コンパクトシティの推進		分野計画参照ページ	P45
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
公共交通確保維持事業 道路交通課	・交通事業者、学識経験者、地域公共交通の利用者、国や府、警察署等の関係者で構成する地域公共交通協議会を4回、実務担当者等で構成する分科会を4回開催した。 ・協議会、分科会における多様な関係者との協議のもと、合意形成を図り、摂津市地域公共交通計画を策定した。		・地域の交通事業者や公共交通利用者等の関係者と連携・協働を図りながら、計画に位置付けた施策を進めていく。	
交通安全対策事業 道路交通課	・矢羽根型路面標示の整備計画延長23.7kmのうち、1.3kmの工事を実施した。 ※進捗率：38.6%(前年度比+5.8%)		・摂津市自転車活用推進計画に基づき着実に整備を進めていく。	

分野	環境	施策	環境保全		
分野計画名称	地球温暖化対策地域計画			行政経営戦略 参照ページ	P67
施策の展開（大項目）	6 脱炭素社会に向けた交通・物流対策の推進				
KPI (指標)	「摂津市は自家用車を利用しなくても移動しやすいまちだ」と回答した市民の割合【★】				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	維持	30.4%(令和2年度)	35.6%	31.7%	24.7%
KPI (指標)	自転車ネットワーク路線整備率【★】				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	0%	20.1%	32.8%	38.6%
中項目	2 グリーン物流の促進			分野計画参照ページ	P46
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察		
公共交通確保維持事業 道路交通課	- 産官学連携によるシェアサイクル実証実験は3年目となり、利用回数は、令和5年4月：2,868回、令和6年3月：4,000回となった。 - 利用者の需要や利便性を考慮し、ポートを増設した(20箇所)。 - 令和7年3月に、シェアサイクルアプリを通じて利用者アンケートを実施した。 - 下水道事業課と連携し、市内のデザインマンホール箇所も掲載したシェアサイクルちらしを作成し、市への転入手続きで来庁する市民に配付した。		- 実証実験3年目の利用回数は、ポートの増設や広報活動等により増加している。 - 実証実験開始後、初めて利用回数が月4,000回を超えた。 - 利用者アンケートの結果、シェアサイクルを知ったきっかけは「ポートを見て」が過半数であり、今後もポートの密度を高めるため、増設の調整を進める。		
温暖化対策事業 環境政策課	市民を対象に荷物の再配達防止を目的とした、宅配ボックス設置に係る補助制度について、他自治体の事例やニーズについての調査研究を行い、補助制度を創設できる見込みとなった。		市民ニーズが高いことや、予算執行状況、補助要件等を、先行市への聞き取りにより確認した。先行市の事例を参考としながら人口規模等も勘案し、補助対象規格や予算額を検討した。今後は補助制度について市民に広く周知していく必要がある。		

分野	環境	施策	環境保全	
分野計画名称	地球温暖化対策地域計画		行政経営戦略 参照ページ	P67

施策の展開（大項目）	7 積極的なごみ減量の推進					
KPI (指標)	1人1日あたりのごみ排出量【★】					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	減少	997g	938g	857g	849g	948g
KPI (指標)	リサイクル率【★】					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	11.8%	11.6%	19.8%	20.0%	13.8%

中項目	1 食品ロスの削減		分野計画参照ページ	P48
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
ごみ減量推進事業 環境業務課	・6月及び10月に市民団体と共催により市役所や市内公共施設においてフードドライブを実施し、計870点(前年度比-154点)(企業協賛分除く)の食品提供があった。10月の食品ロス削減月間においては、コミュニティプラザで市民団体と共催による食品ロス削減啓発パネル展を合わせて開催した。 ・10月の食品ロス削減月間に市内へのポスター掲示、収集車へのマグネットポスター掲示により啓発活動を行った。 ・12月・1月のおいしい食べきり全国共同キャンペーンと連動し、市内にポスターを掲示し啓発活動を行った。 ・2月に大阪府、吹田市主催のもったいないやんEXP01に、北摂マイバッグ持参促進・レジ袋削減協議会として出展し、食品ロス削減についての啓発活動を行った。		・組成分析結果から、未利用食材直接排出量は57t(前年度比-16t)と推計しており、計画的な買い物の仕方や食材の利用方法等について引き続き啓発していく必要がある。 ・食品提供数が減少しているものの、未利用食材直接排出量は減少していることから、物価高等も相まって、市民の食品ロス削減意識が向上していると考えられる。	

中項目	2 レジ袋使用量の削減		分野計画参照ページ	P49
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察	
ごみ減量推進事業 環境業務課	・9月広報紙にて、ごみ減量の取組の例として、不用なレジ袋をもらわない紹介を入れ、身近なエコ活動の啓発を行った。 ・本市におけるマイバッグ持参率は78.4%(前年度比+0.4%)であった。		・マイバッグ持参率は北摂7市3町の平均83.8%を下回っているため、レジ袋削減に関する啓発や、マイバッグ持参率が低い店舗へのアプローチが必要である。	

中項目	3 市民・事業者意識の高揚	分野計画参照ページ	P49
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
ごみ減量推進事業 環境業務課	・市民環境フェスティバル等、イベント開催時に合わせてごみ減量化・資源分別啓発、食品ロスPR展示などを実施し周知を図った。 ・市内10小学校の小学校4年生を対象に、ごみ減量化に関するポスターを募集し、673人が参加した。 ・コミュニティプラザ及び別府コミュニティセンターでごみ減量化・環境絵画展を開催し、募集したポスターを展示した。 ・別府コミュニティセンターでもったいナインの紙芝居&リサイクル工作を開催した。 ・市民を対象に夏休みエコ探検隊ツアーを開催し、摂津市ストックヤード及び茨木市環境衛生センターの見学を行った。 ・小学4年生を対象とした出前講座を開催し、3Rについての教育を行った。	・1人1日当たり家庭系ごみ排出量は、405g(前年度比-7g)となっており、微減ではあるが減少傾向が継続している。 ・事業系可燃ごみ排出量は、10,913t(前年度比+126t)となっており、直接搬入量が増加していることから、広域化により搬入先が変わったことによる搬入控えの影響が薄れてきたものと考えられる。 ・組成分析調査の結果より、家庭系、事業系ともに資源ごみである紙類が比較的多く含まれていることから、ごみ分別の啓発を継続実施していく必要がある。	

分野	環境	施策	環境保全	
分野計画名称	地球温暖化対策地域計画		行政経営戦略 参照ページ	P67

施策の展開（大項目）	8 分別の徹底によるリユース・リサイクルの推進					
KPI (指標)	1人1日あたりのごみ排出量【★】					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	減少	997g	938g	857g	849g	948g
KPI (指標)	リサイクル率【★】					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	11.8%	11.6%	19.8%	20.0%	13.8%

中項目	1 資源分別の徹底		分野計画参照ページ	P49
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
ごみ収集処理事業 環境業務課	・11月広報紙にて、ごみ分別啓発を行い、適切な分別がされていないごみについては、分別啓発シールを貼り、取り置くことを周知した。 ・広報課と連携し、市公式LINEアカウントにて、ごみの分別について自動応答する仕組みを取り入れ、市民が気軽にごみの出し方を問い合わせ出来る仕組みを導入した。	・依然として普通ごみ内に資源ごみの混入が見受けられるため、引き続き分別区分の周知及び分別啓発を実施していく必要がある。 ・市公式LINEアカウントのごみの出し方自動応答の内容については、対応出来ていないキーワードもあるため、随時情報を更新、追加していく必要がある。		
ごみ減量推進事業 環境業務課	・再生資源集団回収及び事業系紙資源回収を実施し、回収量等は次のとおりであった。 ■再生資源集団回収の登録団体数：94団体(前年度比-7団体) ■再生資源集団回収量：1,162t(前年度比-109t) ■事業系紙資源回収量：304t(前年度比-7t)	・再生資源集団回収の登録団体数は、こども会の解散及び自治会の高齢化等で登録数が減少傾向が継続しており、マンションが新設された場合は啓発活動を実施するとともに、継続辞退の申出があった際に、継続するための方法を団体と共に検討する必要がある。 ・事業系紙資源回収量は若干の減少傾向となっている。引き続き、新規登録者の拡大に向け、広報や新規事業者への案内を実施していく必要がある。		

中項目	2 臨時ごみのリユース・リサイクル促進		分野計画参照ページ	P50
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
ごみ減量推進事業 環境業務課	・令和7年度からの、リユース・リサイクルのための民間サービス活用に向け、改めて情報収集及び検討を実施した。	・臨時ごみや複雑ごみに含まれるリユース・リサイクルが可能なごみについて、他市状況も踏まえて民間サービスを活用するスキームを検討し、リユース・リサイクルを促進する必要がある。 ・リサイクル率が20.0%(前年度比+0.2%)となっているが、資源ごみ量は前年度とほとんど変わらないため、ごみ量が減少したことにより分母が小さくなったことでリサイクル率が向上している。		

分野	環境	施策	環境保全	
分野計画名称	地球温暖化対策地域計画		行政経営戦略 参照ページ	P67

施策の展開（大項目）	9 気候変動への適応
------------	------------

中項目	1 農作物に関する対策	分野計画参照ページ	P51
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
鳥飼なす保存奨励事業 産業振興課	・鳥飼なすの種の保存として、原種からの栽培や採種に取り組みながら、栽培農家は3件(前年度比±0件)、栽培団体は1団体(前年度比±0団体)となった。 ・鳥飼なすの耕作面積拡大として、みどりの補助金制度による苗の配布など、栽培農家への援助に取り組み、耕作面積は1,743㎡(前年度比+137㎡)となった。 ・流通ルートの確保として、府、市、市場、栽培農家、卸売業者、仲卸業者らと協議を行い、生産者等が府中央卸売市場へ909個(前年度比-642個)の鳥飼なすを出荷した。	・農業振興会会員の高齢化に伴い、栽培技術を有する後継者の育成を進める必要があるため、より高度な栽培技術の獲得の方法を検討していく必要がある。	
公共下水道整備事業 下水道事業課	・東別府雨水幹線周辺において、雨水管257mを整備した。	・東別府地区の浸水対策の根幹となる東別府雨水幹線建設工事が完成したことから、引き続き、雨水幹線周辺の雨水整備を進める。	

中項目	2 水環境・水資源に関する対策	分野計画参照ページ	P51
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
水質管理事業 水道施設課	・気温上昇による水道水の残留塩素低下防止のため、水道管末の水質監視と対策を実施した。	・気温が上昇する時期は、残留塩素の低下が著しいため水質監視を強化し、残留塩素低下の防止対策を実施していく。	
太中浄水場管理運営事業 水道施設課	・複数水源維持のため取水ポンプの整備を行い、揚水能力の低下を抑えた。	・井戸の揚水能力が低下している状況で、複数水源を持続的に確保のため、取水ポンプの整備を行った。	

中項目	3 自然生態系に関する対策	分野計画参照ページ	P51
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
環境衛生事業 環境政策課	・特定外来生物について、ホームページや広報誌で周知・注意喚起を行っている。 ・アライグマの相談件数の増加に伴い、市民の捕獲檻貸出依頼に迅速に対応するため、捕獲檻の保有台数を5台から8台に増強した。 ・「大阪府アライグマ防除計画」に基づき、市民協力のもと、アライグマを10頭捕獲した。	・特定外来生物についての周知・注意喚起は引き続きホームページや広報誌等で行う必要がある。 ・引き続き、「大阪府アライグマ防除計画」に基づき、市民からのアライグマの相談に適切に対応していく。	

中項目	4 自然災害に関する対策	分野計画参照ページ	P52
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
防災対策事業 防災危機管理課	・本市の水害リスクや避難行動等に関する正しい情報を認識し、市域外への広域避難をはじめとする市民の適切な避難行動を促進するため、水害対応ガイドブックを作成し、全戸配布を行った。 ・鳥飼東小学校区の自主防災組織、防災サポーター等と水害時の広域避難を考えるためのワークショップ及び防災まち歩きを実施し、鳥飼東小学校区の地域版防災マップや広域避難啓発動画を作成した。 ・鳥飼北小学校区の自主防災訓練、民生定例会等で水害時の広域避難についての考え方を説明した。	・鳥飼北小学校区及び鳥飼東小学校区で作成したマップや動画を活用し、校区内で水害時の広域避難について啓発活動を進めていく必要がある。 ・他の校区・地区においても、水害時の広域避難について考える取組を進めていく必要がある。	
公共下水道管理事業 下水道事業課	・大規模開発や流出係数が著しく異なる開発に対して、雨水の流出抑制を指導した。	・引き続き、浸水対策の一つとして、開発協議時に雨水流出抑制の指導を行っていく必要がある。	
排水路ポンプ場管理事業 水みどり課	・4施設（摂津ポンプ場、番頭面ポンプ場、中環西側水路ゲート、北横井路取水口）に水位計を設置した。（対象28施設中28施設に設置完了）	・令和6年度は大雨が発生しておらず、効果検証が困難であるが、当初計画通り水位計整備が完了した。	
淀川河川防災ステーション等整備促進事業 政策推進課（鳥飼地区まちづくり担当）	・国と合同で河川防災ステーション事業地の地権者に用地交渉を行った。 ・国が行う河川防災ステーション整備の設計に際して、関連する道路整備や水路整備に調整が必要な各所管課を交えた協議を行った。 ・河川防災ステーション上部施設の災害時機能と建物規模について、河川防災ステーション専門チームで3回協議を行った。 ・淀川で開催されるイベントに会場されている方々にシール貼りアンケート形式で意見を伺った。	・事業予定地の周辺住民は様々な不安を抱えているため、丁寧に意見聴取、情報提供を行い、不安の解消に努める必要がある。 ・引き続き国と合同で地権者の用地交渉や、河川防災ステーション設計に関する協議をしていく必要がある。 ・水防センターの災害時機能や規模については、引き続き、経済性や有効性についてもしっかりと議論を行い、最小の経費で最大の効果が得られる施設を検討していく。 ・シール貼り形式で住民の意見聴取を行うことで、参加者との直接的なコミュニケーションができ、意見等をより具体的に理解することができた。	

環境測定・調査等事業 環境政策課	・市内8か所の地盤沈下状況を把握するため、一級水準測量を実施したところ、環境省が地盤沈下の注意を要する地域の判断基準としている1年間で2cmを超える地盤沈下は検測されなかった。	・引き続き経過測量を実施する必要がある。
農業地域力創造推進事業 産業振興課	・農地所有者に防災協力農地への登録の協力を仰いだものの、登録申請地の状況は次のとおりとなっている。 ■農地数：41農地(前年度比-1農地)(内訳)生産緑地：36農地、一般農地：5農地 ■面積：約5.3ha(前年度比-0.1ha)(内訳)生産緑地：約4.6ha、一般農地：約0.7ha)	・継続して、農地所有者に対し、防災協力農地への登録申請を依頼し、登録を促していく。

中項目	5 産業・経済活動に関する対策	分野計画参照ページ	P53
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
中小企業育成事業 産業振興課	・1月に商工会で市内事業者を対象に大阪消防指令センター見学会&BCP策定セミナーを開催し、参加した14者が大阪府の簡易版BCPを策定した。	・引き続き、商工会と連携し、市内事業者のBCP策定数向上に向け、セミナーの開催、啓発等に取り組んでいく。	

中項目	6 健康に関する対策	分野計画参照ページ	P54
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
健康せっつ21推進事業 保健福祉課	・地域の高齢者が集うリハサロンにおいて、市保健師による熱中症予防に関する講話を行った。 ・7月から9月までの間、猛暑の時間帯に涼める場所として、市役所をはじめ公民館等の計10か所の公共施設を、涼める場所としてホームページに掲載した。 ・7月広報で熱中症に関する特集を掲載した。 ・令和6年9月に室内ウォーキングイベントを開催し、熱中症リスクが高まる時期でも涼しい室内で実施できる運動効果の高い歩き方講座を開催し、事前予約制で約60名の参加があった。	・生活様式を踏まえた熱中症予防について、ホームページや広報紙、SNS等を通じて、継続した啓発をしていく。 ・地図の掲載や、熱中症予防情報と合わせて情報発信する等、猛暑時の避暑施設として、涼める場所の利用促進を図る。 ・今後、地域や企業と連携を図り、市民生活に根付いた対策や啓発活動を検討する。 ・夏でもできる室内運動として、室内ウォーキングのイベントを実施した。参加された方からのイベント内容の満足度が高かったため、引き続き、室内運動イベントの開催を検討していく。	
温暖化対策事業 環境政策課	・7月から9月の間に、コミュニティプラザのせせらぎ緑道側スロープヘドライ型ミストを設置した。 ・環境省・気象庁の熱中症警戒アラートについて、市ホームページに掲載した。	・熱中症対策の一環として、公共施設やイベント時に清涼感のあるクールスポットの場を関係各課と連携し、設定することを検討していく。	
小中学校施設改修事業 教育政策課	・味生小学校、三宅柳田小学校、第一中学校、第二中学校及び第五中学校の体育館に空調設備を設置した。 ・摂津小学校、別府小学校、鳥飼西小学校及び鳥飼東小学校の体育館への空調設備設置工事に着手した。	・令和7年度の全小中学校体育館へのエアコン設置完了に向け、計画的に工事を進める。	

感染症予防事業 保健福祉課	・令和6年10月から新型コロナウイルスワクチンの定期接種が開始され、他の予防接種と合わせ、ホームページや広報紙、LINEでの情報発信を通じて周知啓発した。	・引き続き、状況等に応じて市民が情報を選択できるよう、必要な感染症の予防啓発を実施していく。
------------------	---	--

中項目	7 都市生活に関する対策		分野計画参照ページ	P54
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
温暖化対策事業 環境政策課	・グリーンカーテンコンテストを実施し、個人27点、団体・事業者7点の計34点(前年度比+8点)の応募があった。	・グリーンカーテンコンテストについては、不作により、取り組んだが応募できなかったとの声もあった。応募者の裾野を広げるため引き続き、広報紙やホームページ等を通じ周知していく。		

分野	環境	施策	環境保全		
分野計画名称	地球温暖化対策地域計画			行政経営戦略 参照ページ	P67
施策の展開（大項目）	10 居心地の良い環境づくり				
KPI (指標)	公害苦情の件数				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	減少	56件	59件	54件	49件
中項目	1 環境美化の推進			分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察		
環境美化事業 環境政策課	・環境美化推進地区で、既設看板の点検や補修を行った。 ・環境美化推進地区等で、びかぼチューズデーを10回(4月、5月雨天中止)開催し、延べ258人(前年度比-58人)が参加した。 ・環境美化ボランティア制度に41人の新規登録があり、計1,868人の登録となった。		・路面シール及び看板設置後は、ごみのポイ捨てが減少傾向であることから、引き続き、保守点検を行うとともに、必要に応じて新設等の対応を行う。 ・びかぼチューズデーについては、引き続きホームページや広報紙等を通じて参加者の増加を図る。 ・環境美化ボランティア制度については、引き続きホームページや広報紙、市主催イベント等を通じて登録者の増加を図っていく。		
中項目	2 公害の防止			分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察		
環境測定・調査等事業 環境政策課	・河川、水路の水質調査(9箇所)を年4回実施した。 ・大気中の二酸化窒素の簡易測定(19箇所)を実施した。 ・道路騒音測定(3箇所)を実施した。 ・一般環境騒音測定(18箇所)を実施した。 ・新幹線騒音・振動測定(2箇所)を実施した。 ・特定建設作業実施届出書を295件受理し、届出時に近隣環境に配慮して作業を行うよう指導した。 ・公害苦情対応した49件については、改善勧告、改善命令を発する案件はなかった。		・各調査・測定結果について、概ね良好であるが、市域の環境の現況把握と公害防止のため、引き続き取り組む必要がある。 ・公害苦情件数49件の内訳は、騒音22件や振動7件(主に工事にに関するもの)、悪臭7件、その他13件となっている。 ・工事関係の苦情が、割合として多いので、特定建設作業の届出の際、近隣へ騒音・振動、粉塵等に配慮するよう、引き続き指導していく。		

中項目	3 生活排水の適正処理		分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
し尿収集事業 環境政策課	・浄化槽設置者(管理者)(111件)に対し、対面や文書で浄化槽の適正管理を啓発した。 ・浄化槽法で年に1回実施することが規定されている浄化槽の定期検査で、「不適正」となった15件(前年度比-1件)の浄化槽設置者(管理者)に対し、改善の助言と指導を実施した。 ・新たに設置された浄化槽に対し、初回に実施する法定検査で「不適正」となった1件の浄化槽設置者(管理者)に対し、改善の助言と指導を実施した。	・浄化槽やくみ取り式トイレを使用する建物からの生活排水が河川の水質悪化の要因の1つとされているため、引き続き、これらの使用者に対し設備等の適正管理を継続して啓発していく。		